



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名 AppBank株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6177 URL http://www.appbank.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 宮下 泰明
 問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員 (氏名) 酒井 秀樹 (TEL) 03-6302-0561
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	345	0.2	△5	—	△6	—	△8	—
2018年12月期第1四半期	344	△26.6	△91	—	△91	—	△75	—

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 △9百万円(—%) 2018年12月期第1四半期 △93百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	△1.09	—
2018年12月期第1四半期	△11.30	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	1,174	711	59.5
2018年12月期	1,197	686	56.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 698百万円 2018年12月期 672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,523	7.0	△117	—	△121	—	△124	—	△15.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	7,705,100株	2018年12月期	7,599,900株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	15,243株	2018年12月期	15,243株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	7,633,557株	2018年12月期1Q	6,709,731株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、決算説明資料については、速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、メディア事業とストア事業の2種のセグメントを軸にビジネス展開しております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取りまく経営環境におきまして、当社メディア事業の主たる事業内容であるインターネット広告市場は、5年連続して二桁成長になるなど、拡大を続けております(注1・2)。また、ストア事業の主たる商材に影響のあるスマートフォン端末につきましては、買い替えサイクルの長期化等の理由により国内出荷台数が前年を下回る(注3)なか、スマートフォンアクセサリー販売につきましても、需要が縮小する厳しい市場環境になっております。

このような環境下、当社グループは、「既存事業分野での成長と深耕」をテーマに収益の回復に努めてまいりました。メディア事業においては、営業体制を強化することによる広告収入の拡大及び新規開発費用を含む製造費用の抑制、ストア事業においては、顧客の購買意欲を喚起させる商材の提供による売上拡大及び販売管理費の圧縮に努めました。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高345,200千円(前年同期比0.2%増)、営業損失5,975千円(前年同期は営業損失91,088千円)、経常損失6,288千円(前年同期は経常損失91,926千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失8,352千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失75,816千円)となりました。

(注1) 出所：経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」(2019年2月確報版)

(注2) 出所：株式会社電通「2018年日本の広告費」

(注3) 出所：一般社団法人電子情報技術産業協会「2019年1月携帯電話国内出荷実績」

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

各セグメントの業績数値にはセグメント間の内部取引高を含んでおります。

(メディア事業)

メディア事業におきましては、サイト運営、スマートフォンアプリの開発・運営、インターネット動画配信、アドネットワーク運営及びこれらと連動する広告枠販売等のビジネスを行っております。

サイト運営では、中核メディアサイト「AppBank.net」、攻略サイト「バズドラ究極攻略」、「モンスター攻略」等を提供しております。

動画配信の分野では、「YouTube」及び「niconico」を通じて、「マックスむらいチャンネル」「AppBankTV」「マックスむらい部」等において様々なコンテンツを提供・公開しております。

営業面では、広告プラットフォーム事業は低迷いたしました。純広告、アドネットワーク広告、動画広告が伸長したことに加え、制作原価の抑制、販売管理費の圧縮等により営業損失は前年同期と比べ縮小いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント合計では、売上高130,248千円(前年同期比2.5%減)、セグメント損失は12,044千円(前年同期はセグメント損失81,538千円)となりました。

(ストア事業)

ストア事業におきましては、「AppBank Store」のEコマースサイト及び店舗においてスマートフォンアクセサリーをはじめとするグッズの販売を行うとともに、スマートフォンユーザーのライフスタイルをより豊かにするために、モバイル保険やiPhone修理等のサービスを展開しております。また、ゴルフに特化した新感覚メディア「ringolf」に関するグッズ販売やイベント運営を行っております。

「AppBank Store Web店」では、顧客ニーズに合った幅広い商品の提供による需要喚起に努めました。バッテリー販売の伸長に加えて、モールが好調だったことから、前年同期を上回る実績となりました。

店舗売上は、前年同期と比べ、「AppBank Store うめだ」「PRIVATE KITCHEN ヒソカ」が閉鎖したことにより減少いたしました。

営業面では、店舗売上、卸売上及び修理売上は減少したものの、Eコマースサイト売上が伸長し、利益面では販売管理費の圧縮等により、黒字転換いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント合計では、売上高220,241千円(前年同期比0.3%増)、セグメント利益は5,618千円(前年同期はセグメント損失10,399千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結累計期間末における総資産は1,174,247千円となり、前連結会計年度末に比べ22,970千円減少いたしました。これは主に、「現金及び預金」が596千円減少、「売掛金」が14,852千円減少、「商品」が6,801千円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結累計期間末における負債は463,152千円となり、前連結会計年度末に比べ47,797千円減少いたしました。これは主に、「未払法人税等」が4,325千円減少、「長期借入金」が39,993千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結累計期間末における純資産は711,095千円となり、前連結会計年度末に比べ24,827千円増加いたしました。これは主に、「資本金」が17,434千円増加、「資本剰余金」が17,434千円増加、並びに「親会社株主に帰属する四半期純損失」が8,352千円となったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年2月14日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,867	954,270
売掛金	125,416	110,563
商品	57,580	50,779
原材料及び貯蔵品	1,673	1,301
その他	18,699	18,378
流動資産合計	1,158,237	1,135,293
固定資産		
投資その他の資産		
長期未収入金	147,731	147,521
その他	38,980	38,953
貸倒引当金	△147,731	△147,521
投資その他の資産合計	38,980	38,953
固定資産合計	38,980	38,953
資産合計	1,197,217	1,174,247
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,085	58,909
1年内返済予定の長期借入金	159,972	159,972
未払法人税等	6,128	1,803
その他	84,781	84,478
流動負債合計	312,967	305,162
固定負債		
長期借入金	183,439	143,446
資産除去債務	14,543	14,543
固定負債合計	197,982	157,989
負債合計	510,950	463,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,299	260,734
資本剰余金	472,333	489,768
利益剰余金	△43,032	△51,385
自己株式	△598	△598
株主資本合計	672,002	698,519
新株予約権	9,449	9,117
非支配株主持分	4,814	3,458
純資産合計	686,267	711,095
負債純資産合計	1,197,217	1,174,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	344,673	345,200
売上原価	214,938	180,488
売上総利益	129,734	164,711
販売費及び一般管理費	220,822	170,687
営業損失(△)	△91,088	△5,975
営業外収益		
受取利息	38	4
貸倒引当金戻入額	420	210
物品売却益	—	283
雑収入	194	46
営業外収益合計	653	545
営業外費用		
支払利息	1,160	800
雑損失	330	57
営業外費用合計	1,491	857
経常損失(△)	△91,926	△6,288
特別利益		
新株予約権戻入益	3	3
固定資産売却益	500	—
特別利益合計	503	3
特別損失		
減損損失	—	2,895
特別損失合計	—	2,895
税金等調整前四半期純損失(△)	△91,422	△9,180
法人税、住民税及び事業税	1,231	528
法人税等調整額	1,089	—
法人税等合計	2,321	528
四半期純損失(△)	△93,743	△9,709
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,927	△1,356
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△75,816	△8,352

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
四半期純損失(△)	△93,743	△9,709
四半期包括利益	△93,743	△9,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△75,816	△8,352
非支配株主に係る四半期包括利益	△17,927	△1,356

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ17,434千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が260,734千円、資本剰余金が489,768千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディア事業	ストア事業			
売上高					
外部顧客への売上高	132,817	211,855	344,673	—	344,673
セグメント間の内部売上高 又は振替高	829	7,717	8,546	△8,546	—
計	133,646	219,573	353,220	△8,546	344,673
セグメント損失(△)	△81,538	△10,399	△91,938	850	△91,088

(注)1. セグメント損失(△)の調整額850千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディア事業	ストア事業			
売上高					
外部顧客への売上高	130,122	215,077	345,200	—	345,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	125	5,163	5,289	△5,289	—
計	130,248	220,241	350,489	△5,289	345,200
セグメント利益又は損失(△)	△12,044	5,618	△6,425	450	△5,975

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額450千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「メディア事業」においてソフトウェアの減損損失2,525千円を計上しております。

「ストア事業」において店舗設備の減損損失370千円を計上しております。

(重要な後発事象)

(新株予約権の行使)

当社が2018年9月14日に発行した第4回新株予約権（第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権）について、2019年4月1日から2019年4月30日までの間に一部の権利行使がありました。

その概要は、以下のとおりです。

- (1) 発行した株式の種類及び株式数 普通株式 157,400株
- (2) 増加した資本金の額 26,564千円
- (3) 増加した資本準備金の額 26,564千円

これにより、2019年4月30日現在の資本金は287,298千円、資本準備金は287,198千円、発行済株式総数は7,862,500株となりました。